

令和6年度岩手県立磐井病院臨床研修プログラム

【研修理念】

岩手県立磐井病院理念を理解し、常に病むものとあり、救急医療、地域医療に貢献できる医師となるようにプライマリ・ケアの基本的な診察能力(知識、態度、技能)を身に付け、社会常識の涵養、人格の陶冶に努める。

【研修到達目標】

- 1 : On the job training で多数の実経験を積む
- 2 : 最短で専門医資格をとる
- 3 : 2年次で救急外来を仕切る
- 4 : 知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

1. プログラムの特色

岩手県立磐井病院(病床数315)は2006年4月に、自然豊かな現在地に岩手県立南光病院(精神科)とともに新築オープンしました。

当院は「緩和ケア病棟」を有する「地域がん拠点病院」であり、さらに「地域周産期拠点病院」となっております。また、脳神経内科・脳神経外科、他の診療科も含めて、岩手県南・宮城県北の15万人の医療圏の拠点となっています。特徴として、地域がん診療連携拠点病院として諸施設(放射線診断機器<MDCT、MR、血管撮影装置など>、放射線治療<リニアック>、緩和ケア病棟<24床>)を有し、全人的、包括的ながん治療を行っています。また、救急指定病院として岩手県南・宮城県北医療圏での救急医療を担っています(1~2次(一部3次)のほぼすべての治療を行う)。とくに病院にヘリポートが設置されており、ヘリコプター搬送による医療も実践しています。

電子カルテを中心とした院内情報システムを整備し、「豊かな自然に抱かれた近代的な病院」で快適な研修生活を送ることができます。

卒後臨床研修では、必修化以前から30年以上にわたり研修医を受け入れてきた実績があり、地方の病院ならではのアットホームな雰囲気の中で、自由選択科目履修期間が長い柔軟なローテーションを提供します。また、建物が一体化している岩手県立南光病院で精神科研修を行うなど、ほとんどの必修科目(選択必修含む)が敷地内で履修できます。

臨床研修修了後は、引き続き当院で後期研修(専門研修)を行うコースも用意しています。

2. 研修分野・研修期間(開始時期:令和6年4月から)

◆ 必須ローテーション

- 内科:24週(消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科)
- 救急:12週(集中研修4週と研修期間2年間を通して実施する月4回程度の日当直を8週に換算し12週以上の研修とする。)
- 麻酔科:4週(※1年次の10月以降のローテーション)
- 外科:8週(一般外科※、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科等の外科系診療科)
- ※一般外科での研修を最低8週
- 小児科:4週
- 産婦人科:4週
- 精神科:4週(南光病院)
- 地域医療:4週【原則2年次】
- 一般外来:(4週)内科、小児科、地域医療、総合診療科(選択)の研修の中で、並行研修により、4週以上の研修を行う。

- ◆ 保健・医療行政として一関保健所(保健衛生行政)研修、2年次には日赤の献血事業に参加し、献血業務における面接及び健康診断を実施(月1~2回程度)。

- ◆ 自由選択:48週 研修可能な診療科は必修科目に同じ診療科のほか、総合診療科、画像診断科、放射線治療科、緩和医療科も選択可能。また、2年次の自由選択は、岩手県内の全研修病院(協力型臨床研修病院)の研修可能な診療科を選択できる。希望者は、個別にプログラム責任者に早めに相談すること。プログラム責任者は希望病院ならびにイーハトーヴ臨床研修病院群の事務担当に連絡する。

■ 研修ローテーション(基本)

1年次	内科 24週				麻酔 4週	救急 4週	外科 8週	自由選択12週 (うち2週総合診療科)
	5月~ 当直・救急							
2年次	地域4週	精神4週	小児4週	産婦4週	自由選択36週			
	当直・救急							

※当院のプログラムにおいて、研修医に必要な期間を理解しやすく示したものであり、最も標準的なローテーション順を示しているもの。

3. 研修指導体制等

臨床研修管理委員会およびその下部組織である、実動的な臨床研修委員会のもと、指導医および上級医が研修医を指導する。

- ・ 研修管理者：病院長 阿部 隆之
- ・ 研修実施責任者：医療研修科長 桂 一憲
- ・ 臨床研修管理委員長：医療研修科長 桂 一憲
- ・ プログラム責任者：災害医療科長 前川 慶之
- ・ 副プログラム責任者：理事 加藤 博孝
- 消化器内科長 横沢 聡
- 医療研修科長 桂 一憲

《協力型臨床研修病院》

協力型臨床研修病院	住 所	連絡先
岩手医科大学附属病院	紫波郡矢巾町2丁目1番1号	019-653-7111
岩手県立中央病院	盛岡市上田1丁目4-1	019-653-1151
盛岡赤十字病院	盛岡市三本柳6地割1-1	019-637-3111
岩手県立胆沢病院	奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地	0197-24-4121
岩手県立南光病院	一関市狐禅寺字大平17番地	0191-23-3655
岩手県立千厩病院*	一関市千厩町千厩草井沢32-1	0191-53-2101
岩手県立大船渡病院	大船渡市大船渡町字山馬越10-1	0192-26-1111
岩手県立釜石病院	釜石市甲子町第10地割483-6	0193-25-2011
岩手県立宮古病院	宮古市崎嶽ヶ崎第1地割11番地26	0193-62-4011
岩手県立久慈病院	久慈市旭町第10地割1番	0194-53-6131
岩手県立二戸病院	二戸市堀野字大河原毛38番地2	0195-23-2191
盛岡市立病院	盛岡市本宮五丁目15番1号	019-635-0101
北上済生会病院	北上市花園町1丁目6-8	0197-64-7722
岩手県立中部病院	北上市村崎野17地割10番地	0197-71-1511
東北大学病院	宮城県仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-7000
岩手医科大学附属内丸メディカルセンター	盛岡市内丸19番1号	019-613-6111

《臨床研修協力施設》

施設	住 所	電話
特定医療法人博愛会一関病院*	一関市大手町3-36	0191-23-2050
国立病院機構岩手病院*	一関市山目泥田山下48番地	0191-25-2221
一関市国民健康保険藤沢病院*	一関市藤沢町藤沢字町裏52番地2	0191-63-5211
岩手県立大東病院*	一関市大東町大原字川内128番地	0191-72-2121
岩手県一関保健所	一関市竹山町7-5	0191-26-1415
社団医療法人西城病院*	一関市八幡町2番43号	0191-23-3636
岩手県赤十字血液センター	盛岡市三本柳6地割1-6	019-637-7201
医療法人社団愛生会昭和病院*	一関市田村町6-3	0191-23-2020
特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院	盛岡市繫字尾入野64-9	091-689-2101

4. 募集要項

(1) 募集定員

8名

(2) 研修医の採用方法

岩手県が企画する合同面接会、および磐井病院の独自の面接（都合により合同面接会に参加できない場合は、随時面接を実施。）を行い、マッチングにより採用を決定する。

- ・ 必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書、成績証明書
- ・ マッチングの参加：有り
- ・ 選考方法：面接、病院見学、学業成績、クラブ活動などから総合的に選考
- ・ 募集時期：6月 1日頃から
- ・ 選考時期：6月20日頃から

5. 研修医の処遇等

- ・ 身 分：会計年度任用職員（1日7時間45分、週38時間45分勤務）、時間外勤務有り
- ・ 任用期間： 2年（2年修了後に後期研修医（常勤医師）として採用可能）
- ・ 報酬月額： 1年次 345,000円 2年次 395,000円
- ・ 手 当： 宿日直手当 1年次 *10,500円 2年次 21,000円
*1年次の当直研修は超過勤務手当を支給する
- ・ 支給見込月額（宿直4回、超過勤務60時間として積算した税込額）：
1年次 465,000円 2年次 713,000円

- ・休 暇：1年次 10日 2年次 11日の有給休暇、夏季休暇、特別休暇有り
- ・保 険 等： 社保（協会健保）・厚生年金、雇用保険、労災保険加入
- ・健康管理： 年2回の定期健康診断、婦人検診（希望者）
- ・宿 舎： 公舎を貸与（有償） 独身者 2K（20年3月新築）、妻帯者用には別途考慮
- ・医局に机・ロッカー・パソコン： 常勤医師と同じ
- ・白衣無料貸与（洗濯含む）
- ・賠償保険： 病院保険に加入（任意の勤務医賠償責任保険個人加入推奨）
- ・学会出張旅費：年 120,000 円
- ・インターネット常時接続（研修医全員にPCとiPadを貸与）
- ・今日の診療指針イントラネット版（電子カルテ端末で閲覧できます）
- ・医学中央雑誌 Web、メディカルオンライン（METEO）

※指導医一覧（2024年4月）※職名は予定

診療科	職名	氏名	指導医 講習会受講
外科	院長	阿部 隆之	○
外科	副院長兼医療研修課長兼医師事務支援室長兼乳腺外科長	桂 一憲	○
外科	第1外科長兼消化器外科長	柏館 俊明	○
外科	食道外科長兼内視鏡外科長	鳩山 恵一郎	○
外科	内分泌外科長	郷右近 祐介	○
整形外科	第1整形外科長	中村 聡	○
整形外科	第2整形外科長	魚住 弘明	○
整形外科	第3整形外科長	千田 優子	○
整形外科	整形外科医長	吉村 広志	○
形成外科	医療局参与兼形成外科長	本庄 省五	○
脳神経外科	第1脳神経外科長兼リハビリテーション科長	高橋 昇	○
脳神経外科	第2脳神経外科長	菊池 登志雄	○
泌尿器科	泌尿器科長	藤島 洋介	○
耳鼻いんこう科	耳鼻いんこう科長	吉田 拓矢	○
産婦人科	副院長兼第1産婦人科長兼診療支援室長	加賀 敬子	○
産婦人科	第2産婦人科長	菅原 登	○
産婦人科	第1周産期医療科長（月・火・木）	前川 絢子	○
産婦人科	第2周産期医療科長	櫻田 昺大	○
小児科	第1小児科長	丸山 秀和	○
小児科	小児科医長	佐藤 紀夫	○
小児科	医師	金森 啓太	○
新生児科	新生児科長	天沼 史孝	○
消化器内科	第1消化器内科長	横沢 聡	○
消化器内科	第2消化器内科長	千手 倫夫	○
消化器内科	第3消化器内科長	本田 純也	○
消化器内科	内視鏡科長	阿部 出	○
循環器内科	第1循環器内科長	小野寺 洋幸	○
循環器内科	副院長兼地域医療福祉連携室長兼第2循環器内科長	遠藤 浩司	○
循環器内科	循環器内科医長	庄原 秀一	○
脳神経内科	副院長兼第1脳神経内科長兼医療安全管理室長	川守田 厚	○
呼吸器内科	感染管理室長兼呼吸器内科長	駒木 裕一	○
救急科	副院長兼診療情報管理室長	中村 紳	○
救急科	救急科長	片山 貴晶	○
救急科	災害医療科長	前川 慶之	○
総合診療科	理事兼磐井病院がん化学療法科長兼肛門外科長兼総合診療科長兼花泉地域診療センター長	加藤 博孝	○
麻酔科	中央手術科長	須田 志優	○
麻酔科	麻酔科長	叶城 倫子	○
麻酔科	麻酔科医長	千田 康之	○
画像診断科	画像診断科長兼放射線科長	照山 和秀	○
放射線治療科	放射線治療科長	阿部 恵子	○
眼科	眼科長	今泉 利康	○
緩和医療科	緩和医療科長	平野 拓司	○